

学校法人大阪医科薬科大学の主なSDGs活動【2021年度】

	主催団体	会議体等の名称	(設立・活動等) 趣旨	活動頻度	主な参加大学等	大阪医科薬科大学の参加者
対外活動	国連大学サステイナビリティ高等研究所	SDG大学連携プラットフォーム	SDG s 活動に積極的な大学が参加し、各大学の活動情報等を共有するとともに、国際社会で活躍できる人材の育成や活動内容を国内外のステークホルダーに情報発信等を通じて国際社会でのプレゼンス向上と持続可能な社会の発展に貢献する。	通年	東京大学をはじめ、SDG s 活動に於いて先駆的役割を果たしている国内の国公私立28大学が参加	法人役員、大学（医学部、薬学部、看護学部）、大学病院、高槻中学校・高等学校、事務局の教職員の中から各テーマ毎に構成
		SDG-UP大学間連携分科会 (コーディネーター：金沢大学)	SDG大学連携プラットフォーム参加大学（28大学）のうち、SDG s 活動における大学間連携活動を強めることを希望する大学が、更に付加価値の高い社会貢献活動を目指して検討する会議体（他に「SDG s カリキュラム分科会」、「外部評価・アカウンタビリティ分科会」、「マネジメント層分科会」がある。）	3回/年	上述の28大学のうち、9大学が参加	
	関西SDG s プラットフォーム事務局	関西SDG s プラットフォーム（全体会議）	SDGsが目指す持続的社会的構築には、誰一人取り残さない社会を目指して、技術革新と社会的変革が不可欠であり、2030年の世界を担う若手人材の育成が重要である。本プラットフォームは、SDGsの課題達成に向けた諸問題の解決のために、高等教育及び研究を担う大学と産官学民の幅広い関係機関が「誰一人取り残さない」を理念とするSDGsに関連する諸課題について教育・研究・社会貢献活動の推進・協働を行う。	数回/年	関西圏の国公私立大学や島津製作所などの企業、NGO団体など多様な組織が参加	
		関西SDG s プラットフォーム大学分科会	「教育」、「研究」、「社会貢献」の3グループに分かれ、参加大学や企業等が討議を通じて率直な意見交換を行い、SDG s 活動に関する情報共有と懸念領域に関する解決策等の検討を進めていく。	3回/年	上記の参加組織のうち、各組織の関心があるテーマの分科会に参加（本法人は3テーマ全てに参加）	
	大阪医科薬科大学&関西大学SDGs推進室	大阪医科薬科大学&関西大学SDGs連携検討会議	今後のSDG s 活動を推進するにあたり、両大学の社会貢献活動の付加価値をより高いものにするために、「共創カフェ」等を通じて、お互いの強みを融合し足りない部分を補完し合う連携活動を模索する。	随時	両大学の関係者が直接の協議や電話、メール等を通じて連携活動を行う	